



『救急ワークステーションでの教育』

	都道府県名	大阪府
	所 属	堺市消防局 救急部 救急ワークステーション
	氏 名	河原 利之
	職名・階級	主幹（救急指導担当第1部）・消防司令
	指導救命士養成研修 受 講 時 期	平成29年度 指導救命士養成研修 第1期 修了

私は救急ワークステーションで勤務し、指導救命士として救急救命士や救急隊員に教育を行っています。特に救急救命士の資格を取ったばかりの新規救命士と1年の間、ともに勤務し多くのカリキュラムとOJTで指導しています。指導救命士養成研修で学んだことを活かし取り組んでいる教育について、今年度実施している主な内容を紹介させていただきます。



4月「救急現場における交通事故・トラブル対応研修」

指導救命士が行う教育として、訓練場で救急機関員を中心に交通事故防止や事故が起こった時の対処について訓練を行いました。

5月「テロに備える止血処置の実施」

新しく導入する資器材（ターニケット）の説明と止血処置について、救命救急センターの医師を招いて講義を行いました。



6月「脳血管障害」

脳卒中コールを受けている医師を招き、症例検討会を行いました。

7月「ORION 入力要領説明会」

指導救命士が行う教育として、ICT を活用した医療機関選定システムの使用方法についての講義を行いました。

「挿管薬剤補習型（薬剤）」

指導救命士が行う教育として、実践技能教育コースを行いました。

8月「病院交渉方法について」

4月～7月の間に MC に参画している8医療機関とディスカッション方式の合同勉強会を実施した結果をもとに、指導救命士が行う教育として、傷病者の搬送依頼の方法についての講義を行いました。

9・10月「指導救命士救急車同乗実習」

指導救命士が行う教育として、10名の指導救命士が21隊（両部）にOJTを行いました。

「多数傷病者対応」

指導救命士が行う教育として、座学を行い、後日、救急隊全隊に対し3隊合同のシミュレーション訓練を行いました。

11・12月「救急救命技術研修会」

新規救命士が想定を考え、エルスタで学んだ手法でリファインを実施し、シミュレーション訓練を行っています。脳神経外科や循環器科などの医師を招き指導をして頂いています。想定を考えた新規救命士には、想定内容についてプレゼンテーションを実施させています。

1月「救急事務」

指導救命士が行う教育として、eラーニングを使用し救急事務についての教育を行う予定です。

2月「循環器疾患」

ハートコールを受けている医師を招き、症例検討会を行う予定です。

3月「挿管薬剤補習型（挿管）」

指導救命士が行う教育として、実践技能教育コースを行う予定です。

「研究発表」

新規救命士が1年間学んだことの研究発表を行い、救命救急センターの医師に指導して頂く予定です。前年度発表者のうちの1人は、今年度の全国救急隊員シンポジウムで発表することとなりました。



救急ワークステーションは指導救命士が行う教育機関として非常に環境が整った施設です。堺市立総合医療センター（堺市救命救急センター）に併設されドクターカーも運用しています。現在、救急ワークステーションには、組織全体で14人いる指導救命士の内4人が在籍しています。私たち救急ワークステーションの職員は、救急救命士や救急隊員が興味をもってもらえる内容になるように心掛けて研修を企画しています。グループディスカッション方式での座学を増やし、シミュレーションによる研修も多く行っています。参加者全員が意見の言える環境になることを目標に研修を運営しています。

職場では、「救命士になりたい」や「新規救命士になってワークステーションで勉強したい」といった声をよく聞きます。大変嬉しく思っていますが、「指導救命士ってしんどそう」といったベテラン救命士の声も聞きます。今後は指導救命士の魅力についてアピールできれば良いと考えています。